

日々の損益を「見える化」して確実な成果を上げる これだけでできる! 収支日計

会期 東京 / 2016年11月17日(木) 10:00~17:00

会場 東京 / 日本ロジスティクスシステム協会 会議室(港区)

講師 株式会社物流改善事務所 代表取締役
黒澤 明氏

参加対象 物流事業者、物流子会社、
3PL会社の配車管理者や
物流管理部門の方

参加特典

「車両原価計算フォーマット(Excel)」を
セミナー当日CD-Rで
お渡しいたします。



参加申込規程

参加料(消費税込み)

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会会員
総額 37,800円(参加料 35,000円+消費税2,800円) / 1名
会員外 総額 54,000円(参加料 50,000円+消費税4,000円) / 1名
(注)昼食費は含まれておりません。

参加定員

30名(定員になり次第締め切らせていただきます) ※最少催行人数:10名

参加申込方法

●WEBまたはFAXで受け付けています。

WEBの場合

当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。

トップ → 資格講座・セミナー → セミナー

※当協会のホームページは www.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。

FAXの場合

下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。

【開催日直前のお申し込みについて】

- 開催間近のお申し込みについては、事務局へお問い合わせください。
- 定員に余裕のあるときのみ当日受付も行いますので、事前に事務局にご確認のうえ、直接会場受付へ申込書または名刺をご持参ください。

ご注意

- テキストは会場でお渡しいたします。テキストのみの販売はいたしておりません。
- 録音機、カメラ等の持込はご遠慮ください。
- 受講日の1週間前までに参加証が届かない場合は、事務局までご連絡をお願いいたします。

参加料支払い方法

- 請求書は原則として合計金額を参加者の最上段(氏名1)の方にお送りいたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- 請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までをお願いいたします。(開催後になる場合は、参加申込書の支払予定日欄に明記してください。)
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

【お願い】

- 参加予定の方のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。(注)キャンセルはFAXでのご連絡のみ申し受けます。

【キャンセル規定】

開催7日前~前々日(開催日初日を含まず起算)……参加料(消費税を除く)の30%
開催前日および当日……参加料(原則として消費税を除く)の全額

参加申込・問い合わせ先/講義会場

申込先 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 業務管理部
東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディウム3F
TEL.03-3436-3191 FAX.03-3436-3190

講義会場 日本ロジスティクスシステム協会 会議室
東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディウム3F
JR「浜松町駅」南口より徒歩5分
ゆりかもめ「竹芝駅」西口より徒歩3分

● 参加申込書 ● 参加申込FAX ▶ 03-3436-3190

BA-1629

日々の損益を「見える化」して確実な成果を上げる これだけでできる! 収支日計

開催期日 2016年11月17日(木)

フリガナ 会社名・事業所名		<input type="checkbox"/> 協会会員 <input type="checkbox"/> 会員外		参加料のお支払いが開催後になる場合は明記下さい。	
				支払予定日: 月 日 予定	
参 加 者	フリガナ 氏名 1	フリガナ 氏名 2	所属・ 役職名	所属・ 役職名	受付No.
	所在地: 〒 都道 府県	所在地: 〒 都道 府県			
	TEL. - -		TEL. - -		受付No.
FAX. - -		FAX. - -			
e-mail.		e-mail.			
参加料合計 名 円(氏名1の方へ請求書と参加証をお送りいたします)		受付日		請求日	請求書No.
協会への連絡事項					

個人情報の取り扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内を送りつける際に利用させていただきます。

日々の損益を「見える化」して確実な成果を上げる

これでできる！収支日計

物流業界を取り巻く環境は、依然として過当な価格競争などを背景に、利益が上がりづらい構造となっています。そのような中、高い生産性を実現し、収益を確保している物流企業の多くで、「収支日計」が活用されています。

「収支日計」とは、車両、ドライバー、または物流センターごとに日別の収支管理を行う手法で、日々のオペレーションを商品とする物流業に適した「管理会計」の一つです。日次決算とも呼ばれるこの手法は、毎日の売上から原価（変動費・固定費）を引いて、一日ごとにおける個々の損益を「見える化」します。

日々の損益を「見える化」することにより、どこで儲けて、どこで損をしているか、が明らかになるとともに、浮かび上がる問題点に対して、すみやかに改善へと取り掛かることができます。従業員は、自身が係わる業務の損益が明示されることで、自発的な改善へと動き出します。

本セミナーでは、車両と物流センターにおける収支日計の運用を中心に、難解なテクニックや高額なツールを必要としない、実務に即した収支日計のノウハウを解説いたします。

皆様からの積極的なご参加、お待ちしております。

※演習を行いますので、パソコンまたは電卓をご持参ください。

プログラム

東京 / 2016年11月17日(木) 10:00～17:00

1	物流企業の経営状況	<ul style="list-style-type: none">・ 物流企業の経営状況・ 物流・輸配送を取り巻く環境・ 物流コストの構成
2	「収支日計」の導入実態	<ul style="list-style-type: none">・ 「収支日計」の導入実態・ 管理会計と財務会計の使い分け
3	「収支日計」運用のポイント	<ul style="list-style-type: none">・ 収支日計の目的・ 収支日計運用のポイント・ 収支日計（サンプル）解説
4	「収支日計」の本当の目的	<ul style="list-style-type: none">・ 「車両別収支日計」導入のポイント・ 「収支日計」の本当の目的
5	収益アップへのアプローチ具体策	<ul style="list-style-type: none">・ 配車業務との連携・ 営業との連携
6	物流センターの収支日計	<ul style="list-style-type: none">・ 物流センターの収支日計・ 収支日計（サンプル）解説・ 物流センターの収支日計による改善と管理手法
7	(演習) 「収支日計表作成の基礎設計」	<ul style="list-style-type: none">・ 収支日計表作成の基礎設計・ 車種・運行内容ごとの係数設定・ 収支日計表のフォーマット作成

講師プロフィール

くろ さわ
黒 澤

あきら
明 氏

株式会社物流改善事務所
代表取締役

7年間の物流会社勤務の後、日本ハム物流子会社設立参画を経て、物流コンサルティング会社へ入社。同社取締役を経て2005年物流コンサルティング会社を設立し、代表取締役を10年務める。2014年新たに(株)物流改善事務所を設立し現在に至る。「利益貢献する物流現場作り」を信念に、精力的に活動している。業界新聞・雑誌など執筆多数。